

胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）  
の施設基準に係る届出書添付書類

1 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術 若しくは胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術、胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術又は胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（全て内視鏡手術用支援機器を用いる場合に限る）を術者として合計10例以上実施した経験を有する常勤医師の氏名等	常勤医師の氏名	勤務時間	当該手術の術者としての経験症例数
		時間	例
		時間	例
2 当該医療機関における胸腺関連疾患に係る手術の年間実施症例数  <div style="text-align: right;">例</div> そのうち、胸腔鏡下手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を含む。）の年間実施症例数  <div style="text-align: right;">例</div>			
3 標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）  <div style="text-align: right;">科 科</div>			
4 呼吸器外科の常勤医師の氏名等（呼吸器外科について5年以上の経験を有する者が2名以上、そのうち10年以上の経験を有する者が1名以上）	常勤医師の氏名	勤務時間	呼吸器外科の経験年数
		時間	年
		時間	年
		時間	年
5 緊急手術が可能な体制 <span style="float: right;">（ 有 ・ 無 ）</span>			
6 常勤の臨床工学技士の氏名			
7 保守管理の計画 <span style="float: right;">（ 有 ・ 無 ）</span>			

〔記載上の注意〕

- 1 「1」及び「4」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。
- 2 「1」及び「2」については、当該手術症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添2の様式52により添付すること。

- 3 「7」については、当該手術に用いる機器の保守管理の計画書を添付すること。
- 4 当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。